



夏休み間近！

いよいよ明日から生徒待望の夏休みに入ります。長い夏休み期間、規則正しい生活で元気に過ごしてほしいと思います。以下は終業式で話した内容の骨子です。

夏休みを迎えるにあたって、成長について話をします。

成長させるためには、3つのことが大切です。それは、『心』『想い』『行動』の3つです。

成長させるための、1つ目の視点『心』は「感謝」です。1学期間、みなさんを支えてくださった方々に感謝の気持ちを忘れないでほしい。（中略）

2つ目の視点、『想い』は、4月、入学や進級した時、おめでとうと言われたあの時の気持ちを思いだしてください。おめでとうと言われ、その後、皆さんは、「よし、頑張るぞ！こんな自分になりたい」という目標を立てたはずです。目標に向かって頑張ろうとする意識を忘れないでほしい。目標をたて、それに向かって頑張ろうとするその想いが大切です。（中略）

3つ目の視点、行動は、とにかく行動に移すということです。まずは、取り組みやすいことから行動に移してください。例えば、家の手伝いです。

（中略）日ごろお世話になっている家の人たちに、感謝の気持ちを込める事ができるとなお素晴らしいです。1度起こした行動を続けることができれば、責任感と自信が必ず付きます。（中略）この夏休み、自分自身を内面から育ててほしいと思います。「感謝」を忘れず、「目標達成」を心掛け「行動できる人」は、夢を実現できる人です。有意義な夏休みにしてください。（略）

祈健闘！県大会出場者へ

南島原市中総体が、先月20日の陸上大会を最後に終了しました。西有家中の生徒たちはよく頑張りました。バレーボール、サッカーが団体競技で優勝し、県大会に出場します。軟式野球、ソフトテニス男子、卓球男子が準優勝しました。個人競技では、陸上大会で県大会出場の獲得者が、15名でした。また、ソフトテニス男子で、永橋・城谷ペアが準優勝し、県大会出場権を獲得しました。他の競技においても、生徒たちは、持てる力を精一杯発揮し、よく頑張っていました。



<活躍！トップでのバトンパスと1500m>

<県大会開催日・試合時間・試合会場>

- バレーボール競技 7月22日（土）
10：00競技開始 対瑞穂中
会場：大村市体育文化センター（シーハット大村）
- サッカー競技 7月22日（土）
10：00競技開始 対相浦中（佐世保市）
会場：島原市営陸上競技場
- 陸上競技 7月22日（土）・23日（日）
会場：諫早市トランスコスモスタジアム長崎
時間：1日目 10：00 競技開始
2日目 9：30 競技開始
- ソフトテニス競技（個人戦） 7月23日（日）
9：30 競技開始 対出口・川脇ペア（五島）
会場：長崎市運動公園かきどまり庭球場
- 硬式テニス競技（個人戦） 7月23日（日）
9：30 競技開始 対 横島瞭河（長崎日大）
会場：佐世保市総合グラウンド庭球場

7月・8月の主な行事

- 7月 20日(木) 1学期終業式 県中総体・吹奏楽部激励式
21日(金)～夏季休業
22日(土)～23日(月) 県中総体
25日(水) 社明弁論大会(本校から2名参加)
30日(日) 県吹奏楽コンクール県央地区大会(諫早文化会館)
- 8月
3日(木)・4(金) 生徒会リーダー研修会(千々石少年自然の家)
9日(水) 登校日(平和学習 9:00 カムス集合)
21日(月)・22日(火) 登校日(実力・課題テスト)
29日(火)・30日(水) 登校日(3年生)
- 9月1日(木) 2学期始業式



島原特別支援学校在籍の中村陣さんと交流する西中の2年生たち。一緒に美術の授業を受けました。この後体育館で交流しました

ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

物事は考え方一つでプラスにもマイナスにもなります。コップに半分入った水を「半分しか入ってない」と考えるか「半分も入っている」と考えるかは本人の捉え方。ここでは、クレームをプラスに捉えて対応するホテルのマネージャーの話を紹介します。

クレームが入り、お客の部屋に足を運ぶと開口一番、ほぼ同様のことを言われる。「社長を呼んでこい」「総支配人を呼べ」と。社長や総支配人がホテル内にいたとしても簡単に取次ぐわけにはいかない。

「社長も総支配人も、あいにく不在です」「私が総支配人代行です。代わりに話をうかがいます」それでも、クレーム客は引き下がらない。「一番偉い人を呼べ。そう言ったはずだ」そう言われたら、直立不動のままマネージャーは、「〇〇さま、今夜はこのホテルのなかで私が一番上になります。総支配人代行です。ホテル内すべての責任は私がとります。じっくりお話を聞きます。明るくなりましたら上の者がまいりますのですぐ報告します。なんなりとお申し付けください」そして、とことん聞くそうです。「バスルームに髪の毛が落ちていた。どうなってる!」「俺の荷物を少し動かしたんじゃないか。」など、ほとんどがささいなクレーム。3分、5分、10分で済まないことも多い。「そこに座れ!」と指示され、30分や1時間もの間、言わば説教を受け、誠意を見せると言われ続けるのだそうです。

誠意と聞くと何かサービスをするのかなと考えがちだが、マネージャーが示す「誠意」とは、その場で相手の話を聞き続けることだと言うのです。1時間半でも2時間でも延々と相手の顔を見て、聞き、答える。すると、ほぼ全員、少なくとも9割以上の方が最後には気持ちたちが静まり、「かえって済まなかったな」と謝ってくれるというのです。さらにマネージャーは続ける。「〇〇さまのように教えてくださる方のおかげで私たちも成長できるのです。〇〇さまの(クレームの)のおかげで成長できるのです。〇〇さま、ありがとうございます」クレームに対してお礼を述べるマネージャー。人は考え方一つでどうにでも変わる気がします。